

令和6年度 第1回釜石市スポーツ推進審議会 開催結果

1.開催日時 令和6年11月26日(火) 18:00~19:40

2.会 場 昭和園クラブハウス

3.出席委員 8名

小 泉 嘉 明 会 長 三 浦 康 男 委 員 小笠原 加代子 委員
寺 田 恵美子 委員 佐々木 ひづる 委員 佐 藤 千 依 委員
佐々木 一 成 委員 千 田 有 美 委員

4.欠席委員 3名

下 村 恵 壽 委 員 青 木 裕 信 委 員

5.事 務 局 5名

佐々木 豊 文化スポーツ部長 佐々木 利 光 スポーツ推進課長
山 崎 強 スポーツ推進課主幹 藤 原 豊 樹 スポーツ推進課長補佐
清 藤 美 穂 スポーツ推進課係長

6.傍 聴 者 なし

7.経 過

(1) 開 会 <事務局>

佐々木課長より当会議の委員10名中8名の出席しており定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言しました。

(2) あいさつ <文化スポーツ部長>

今年の4月から文化スポーツ部長に着任しました佐々木です。令和2年度から令和4年度までスポーツ推進課長として在職しておりましたが、その頃からスポーツ推進審議会委員の皆様にはご協力をいただきました。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

日頃より委員の皆様にはスポーツ行政につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この審議会で協議いただいたものをスポーツ行政に反映させていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。本日の協議事項ですが令和6年度の上半期の事業報告をさせていただきたいと思っておりますし、スポーツ庁の提言により始まっております部活動の地域移行の現状について報告させていただきます。

中学校では釜石の特設ラグビー部が、今中総体において、2年続けて優勝するという快挙を成し遂げ嬉しい報告とともにこれが部活動の地域移行と関連し地域のプロスポーツである釜石シーウェイブスとの連携によるモデルにもなればと感じております。

また、令和7年度のスポーツ行政事業についても協議していただく予定となっておりますので、皆様方の忌憚の無いご意見を頂戴できればと存じますのでよろしくお願いいたします。

(3) 委員紹介 <事務局>

名簿順で出席委員を紹介。

(4) 議長選出 <事務局>

早速議事進行に入りますが、議事の進行につきましては、審議会条例第5条の規定により会長が議長となりますので、小泉会長に一言ご挨拶を頂いた後に進行をお願いします。

(5) 議長挨拶

スポーツは人に力を与えてくれる素晴らしいものであり前向きになれるものと感じております。

本市において少子高齢化が顕著であり、特に少子化は非常に大きな問題と捉えております。少子化の中でも社会のあり方や学びについて、日頃より学校の先生などには頑張ってお対応してもらっておりますが、子供たちが様々な場面で力を発揮できる環境を引き出してあげなければならないと考えるところです。先ほど釜石の中学校の特設ラグビー部が優勝したという報告がありましたが、生徒は勿論、周りが一丸となって取り組んだ結果と考えます。

ただ、そのような功績はあっても、市外のスポーツ強豪校へ進学されてしまうなど、学校そのもののスケールが小さくなってしまふ懸念があります。

このようなことを鑑み、まちづくり50年見据え、今後市内の人口が大幅に減少する想定がされています。この人口減少は総務省が発表している統計と同様になってきています。今頃になって人口減少について考えているが対応が遅かったことは仕方ありませんが、これからどのようなまちづくりを打ち出すのか、我々も含め将来の子供達へ繋いでいけるよう検討しなければと思います。

まちづくりの一環であるスポーツの取り組みは前向きになれると感じております。本日は、その取り組みについて委員の皆さんで協議していただければと存じます。

引き続き、議長の進行で議事に入る。

(6) 報告 <事務局>

報告事項「令和6年度の事業報告」について資料に基づき説明し、質疑に入りました。

(7) 報告に関する質疑・意見

委員：ソフト事業も多く抱えていると感じるが。トライアスロンは現在実施していないが、オープンウォータースイムは全国各地から選手の参加がある他に、選手家族も一緒に来釜することで地域の活性化には繋がっていると感じます。この大会は非常に盛り上がっていると思います。

仙人峠マラソン大会は盛岡市のシティマラソンと競合してしまうが、ランナーはそれぞれ魅力ある方に参加するのではないのでしょうか。過去にはテレビ放映も行っていただけです。参加者減少は誰のせいでもないが、釜石独自の内容で作り上げ、身の丈にあった大会づくりをすればいいのではと思います。大会運営においても、事務局の体育協会の他に、各種競技協会からもボランティアで大会運営に携わってもらっていい運営ができたと思います。

事務局：運営においては、体育協会を事務局として当課もサポートして大会を迎えることができました。他大会と重複してしまうことは、ランナーの取り合いになることを懸念しておりましたが、やはり参加者が思うように伸びませんでした。委員助言のとおり大会を選択するのはランナーであり、その方々に魅力あるものを更に創り上げることを課題として今後も取り組んでまいります。

委員：今年の健康マラソンの開催雰囲気はどうだったでしょうか？

事務局：良好と思えます。ここ数年釜石陸上協会と連携しコースを見直しながらランナーにとって魅力あるものを心がけておりました。また次回以降の健康マラソンも新たなコースを取り入れるなどランナーに魅力ある内容で検討してまいります。

委員：健康マラソンは、児童？市民？誰をターゲットとしていますか。

事務局：児童を含む市民としています。大きな名のあるマラソン大会ではなく、あくまでも市民の健康を前提とした市民マラソンとして位置付けております。

また、9月のラグビー絆の日イベントで最終日3日目には、岩手県内のプロスポーツ3団体と市民の交流の場として運動会を開催予定でありましたが、雨天により中止した経緯があります。このように市民参加型のイベントをいろいろ検討していますが、委員の皆様にも、こんなスポーツイベントがあれば面白いのではないかとアイデアがあったらご助言ください。

委員：昨年度の健康マラソンで、海外の方数名が参加されたが楽しそうに参加していたのが印象深いです。在住外国人とのスポーツを通じた交流も必要なのかなと感じます。

委員：スポーツイベントとは異なるイベントを抱き合わせで開催できることは魅力があると感じます。物産展とスポーツイベントが融合することで来場者にも魅力が感じられ良い試みになると思います。

事務局：市内に在住外国人が増えたことにより、地域と外国人が交流できるようなスポーツを通じた事業を国際交流課や国際交流協会と連携を図りますし、他事業と抱き合わせイベントとしては、釜石を盛り上げるために、多くの集客を生むことを目標の一つとしています。結果的に地域の活性化に繋がるように事業を進めたいと思います。

委員：国も、学校教員の働き方改革を進めるのは理解していますが、急に部活動を学校から離す方針をだしたのは唐突すぎると思います。

釜石市の場合、スイミングが地域へ移行できたのは、幼児の頃から水泳クラブに加入していたのがそのまま中学校でも継続できたことは理解しています。

委員：先生たちも、専門分野でないクラブを担当してくれたことは大変だったろうと理解します。教員は勉強を教えるプロですが、各種スポーツ競技や専門文化を教えるプロではないと思います。この状況から働き方改革に変化し、現状は様々な課題があり全国的にあまり進んでいない状況と理解しています。国としても教員の環境を理論では理解していても、現場の状況を承知していないまま進めた結果なのではないでしょうか。

委員 これまで部活動は学校内で出来ていましたが、今後地域へ移行となると複数校の生徒が決められた会場へ移動し部活動をする事になります。その移動においても誰がどのように対応するのが課題と思います。また、活動中の事故を想定した保険の加入もどのようにするのか・・・

これらの山積した課題があるにも関わらず簡単に移行してください、厳しいものと考えます。

委員 学校の立場ですが、部活動の地域移行には考え方が二つあります。

地域でスポーツクラブを立ち上げて学校の部活動には所属せず、スポーツクラブに所属して活動してもらう。大会においては中体連主催の大会に出るのか。もしくはクラブチーム単位の大会に出るのか選択をしてもらう。

もう一方は、学校部活動の指導の部分で地域の方々が「外部指導者」として面倒を見てもらう。指導可能な職員はいいが、先生のテリトリー外の競技を時間関係なく指導している状況を変えるために、地域で専門的知識を有している方をお願いする。この指導者には学校より部活動指導員として委嘱し公的予算で日当等を手当することになっているほか、中体連等の試合でも教員に代わって引率もできるようなになっている。以上が二つの流れになっています。

委員：水泳においても、今年から市内スポーツクラブが中体連に登録してクラブとして大会に参加して成績も残しております。

バドミントン競技においても地域でクラブを立ち上げており、ある例では、中学校の部活動に加入しているが、地域クラブにも重複加入し、大会は地域クラブで参加されている例もあります。様々な選択肢の中で生徒には自由に選択させております。

県内の流れでは、スポーツ少年団に登録していない地域クラブに加入して、そこで大会に参加している例が昨年度より伸びております。

また、部活動登録はせずに地域のスポーツクラブに加入し活動している生徒が県内で増えております。

柔道については大会の際は学校で引率していますが、通常は地域の方が指導に入ってくれています。

剣道においても同様ですが、大会においても道場名で参加するようになってきております。

陸上個人種目も学校名で大会には出ずに、スポーツクラブチームの名前で大会参加しております。

市教委においても部活動指導員の予算化をしており、指導員の活動の一部サポートが可能となっておりますので、競技にもよりますが指導者となりうる方がいればご紹介ください。

事務局：学校への外部指導者の人材が不足しているのは、各競技協会へのアンケート結果でも承知しています。指導者になり得る方がいても、既にスポーツクラブチームで指導しているなど、思うような人的確保に至っておりません。現在少子化が進み一つの学校で人数が揃わず部活が成り立たない状況が続く、結果的に複数校の生徒が、地域のスポーツクラブに加盟し活動することが今後の動きになるのではないかと推測しています。

委員：部活動の地域移行は、教員の働き方改革での取り組みであるが。子どもが少なくなってきた部活動が成り立たない部分も影響あると思います。ひいては少子化問題について国にはしっかり取り組んでもらいたいです。

委員：少子化になることで生徒数が減ってきます。並行して教員も減らされ、自ずと実施可能なクラブ数も減少してしまいます。仮にサッカーをしたい生徒が生徒数減少によりサッカー部がなくなってしまうと、その子は全く学校でサッカーに関わるができなくなってしまう。そのような環境をケアして行くことも必要となってきます。活動したい部活動が無い子供達のケアをどのようにすべきかを今教育委員会含め考えている最中です。やりたい競技の活動の場をどの用に作ってあげるかが課題となっています。

委員：学校では部活の全てを投げるのではなく、外部指導などサポートしてくれる方がいれば負担が軽減されると思います。とはいえ、普段働いてくれている方が夕方4時に学校に来て指導してくれるかという、現実的ではなく痛し痒しのところもあります。

委員：市・学校も大変であると感じます。部活動の地域移行においては課題が多いと思いますが、一つ一つ課題を解決して取り組んでほしいです。

事務局：部活動の地域移行に関しましては、学校内の調整は市教育委員会が担当し、外部指導や地域スポーツクラブなど、新たな受け入れ先については、当課で対応することとしております。委員より外部指導者の確保が課題と言われておりますが、その課題を解決するためにも、次年度から新たな取り組みを予定しております。

指導者になる方々は、今後様々な資格を有することが必須となってきます。これまでもスポーツクラブなどの指導者は個人負担などで資格を取得している背景を踏まえ、指導者の発掘・育成を目的として、指導者講習会に係る経費の一部を補助する事業に取り組む予定としております。この事業にて指導者行政間で新たなネットワークを構築させ指導者の確保に取り組むたいと考えています

(その他、質疑等無く令和6年度事業について承認されました。)

(8) 協議 <事務局>

協議事項「令和7年度スポーツ推進課事業計画(案)」を議題として提示し、説明の後に質疑に入りました。

(9) 協議に関する質疑・意見

委員：令和6年度から、引き続き継続している事業が中心となっておりますが、継続できることは大切なことと思います。事業内容も精査しつつ進めて下さい。

事務局：報告でも説明した通り、継続事業であっても参加する方々に魅力あるスポーツイベントを提供できるよう検討し進めてまいります。

委員：スポーツ施設の管理はどのような形で管理運営していますか。

事務局：当市スポーツ施設は、鶴住居復興スタジアム以外は全て指定管理者制度による施設管理運営となっています。コロナ感染症が5類に移行してからは各施設利用は昨年度を上回るか同等の推移となっています。

施設利用においても、昨年度からは鶴住居復興スタジアムを会場として中学校のマラソン大会を開催しているなど、施設の利用概念に捉われない活用も利用率の水準を上げるものと考えております。委員が日頃活動しているエアロビクスなどをこれまでの会場

とは雰囲気を変えて、球技場やスタジアムで練習や大会も開催可能なので、是非ご検討下さい。

委員：新年度事業においても、部活動の地域移行について取り組みを継続しますか。

事務局：今のところ案となりますが、順次移行可能な競技においては、競技協会や学校等と現状を共有し、移行できるよう取り組むほか、少年団等指導者の講習会参加経費の一部を助成できるような仕組みづくりを構築したいと考えております。

(その他、質疑等無く令和7年度事業計画(案)について承認されました。)

議長：皆さんから色々な意見が出ましたが、本日は、中学部活動の地域移行について広く協議できたものと考えております。

新年度事業についても、ソフト事業を多く予定しているみたいですが、引き続き内容を重視し取り組んでいただければと思います。

以上をもちまして本日の協議を終えますので、進行は事務局お返しします。

事務局：委員皆様よりご審議いただきまして、ありがとうございます。

以上をもちまして令和6年度第1回釜石市スポーツ推進審議会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(10) 閉会 19:40 事務局より閉会を宣言。